



イトマンマン（以下、イト）

こ
んにちは！元氣満々のイトマ
ンマンです。令和3年から糸
満市のヒーローとして活動し
ています。2022年頃から
イベントが増え、その場で直
接会えるヒーローとして糸満
市の中で根付いた活動を展開
しています。子どもたちが笑
顔あふれる糸満市を作ってい
くことが私の使命です。今日
は糸満市についてたくさん話
ができると思うので、とても
ワクワク、ドキドキしていま
す。

山城 山城由希です。海ぶどう
農園海んだ道という、糸満の原
風景が残っていると思える場
所に約18年前に父が起業しま
した。父は沖縄出身で地域の
ために、沖縄のためにという
思いから産業を興したいとい

うことで、海ぶどうが誰も知
らなかった時代に養殖場をス
タートさせています。海ぶど
うを世界ブランド、世界の食
材という考えのもと、いろい
ろなことに取り組んでいます。

糸満市でこれからやりたいこと

イト 私は糸満市を今よりも良
くするためにインフルエン
サーを糸満のアンバサダーに
することを提案します。現在、
多くの情報がSNSを通じて
発信されていて、特に飲食店
や週末のイベント情報は、多
くの人がSNSで検索してい
ます。さらに、SNSを活用
することで、糸満市の魅力を
沖縄県内だけでなく、日本全
国、そして世界に向けて伝え
ることが可能です。では、な
ぜインフルエンサーをアンバ
サダーにするか。インフルエ
ンサーが活動することで、糸
満についての情報がより多く
の人に届き、興味を持った人
が訪れ、その経験を共有する
ことで、さらに多くの人へ情
報が広がる好循環が生まれま
す。その好循環を生み出すた

めにも、インフルエンサーが
良いと考えていて、私もその
1人になるために今後も活動
を頑張りたいと思っています。

新垣

私が取り組みたいことと
して、県内にはハーレーの他
にもエイサーや旗頭、棒術な
どさまざまな伝統があって、
今年の9月1日には、そのす
べてを集めた沖縄伝統芸能の
ぜんぶ祭りというイベントを
開催して、県外の観光客や多
くの県民を呼びたいと思っ
ています。このイベントを考
えたきっかけは、昨年の沖縄
爬龍舟フェスティバルで糸満
の中学生が南城市奥武島の高
校生に勝った光景を見たとき
に、やはりハーレーは糸満の
伝統だと思つと同時に、他の
地域ではその伝統を引き継ぐ
人材が不足しているなど感じ



山城 私は糸満のその自然と歴
史、漁業や農業ということと

ました。これまで受け継いだ
伝統を次の世代に引き継ぐた
めにも、このぜんぶ祭りを開
催したいと思っています。ま
た、今年の沖縄爬龍舟フェス
ティバルには、糸満漁協青年
部が知念漁協と石垣漁協、久
米島漁協に声をかけてくれて、
そのうち、石垣漁協のチーム
が参加できそうだと聞いてい
ます。この輪が広がって、将
来的にはフェスティバルと一
緒に全国各地の漁師を集めて、
それぞれの地域でしか捕れな
い魚を使った漁師飯グランプリ
が開催できれば、さらに海
人の町糸満をPRできて、全
国各地の海人が、糸満に来て
くれるのではないかと思っ
ています。そのほかにも、自然
を壊さない足こぎSUPとい
うアクティビティを美々ビー
チに導入して、プロモーション
を兼ねてフェスを開催した
いと思っています。このフェ
スを開催することで、海を壊
さないSDGsの活動を糸満
から発信していきたいと考え
ています。



人が結びついて新しい持続可
能なイベントのモデルケース
をここ糸満で作りたいと思っ
ています。糸満は感性がすご
い豊かに育つ環境で、赤丸さ
んのようなお笑い芸人さんを
含めてアーティストを多く輩
出できる地域だと私は感じて
います。しかし、以前、点描
画家の人とお話をしたときに、
アートの常設展が糸満になく、
才能ある人たちは北谷など他
の地域で展示していたりする
とお話をされていて、そのこ
とにさみしい気持ちになりま
したし、アーティストの人た
ちは、自己プロデュースが苦
手な人が多く、良いものを持っ
ていても世の中に出していけ
ないという人もいます。別の
話になりますが、産業をする
上では廃棄物が必ず出てきま

す。それを食品に加工するな
ど工夫していますが、限界が
ありますので、この廃棄物を
使って糸を作り帆掛けサバニ
の帆にしたり、絵の具を作っ
てサバニに色をつけたりする
イベントが行えればSDGs
の取り組みになります。そこ
で、今お話した、漁業や農
業などの産業や歴史と、先ほ
どのアートの常設展を組み合
わせたSDGsとアートの
フェスを掛け合わせたイベン
トを私たちが運営するプチプ
チビーチで開催したいと考え
ています。そのイベントで、
参加者の皆さんが糸満のア
ーティストの作品に触れる機
会を持ってもらつと同時に、糸
満の文化に触れることができ
て良いイベントになると思っ
ています。

大城

私は豊見城市と北谷町に
住んでいた経験から、糸満市
の魅力について考えています。
糸満市は非常に面白い地域で
すが、その魅力が世間に十分
に知られていないと感じてい
ます。その理由として、糸満
市の楽しみ方が外部に十分伝
わっていない事が挙げられま



す。特に催事やイベントなど
の観光情報が不足しているた
め、観光客や他地域の人々に
とって、糸満市の楽しみ方が
限られているように思います。
糸満市の魅力を伝えるために
は、市内のホテルに宿泊する
観光客だけでなく、地域で観
光や遊び方をわかりやすく伝
えることが重要です。また、
祭りやお笑い、アートイベン
トなどを台風や旧正月などの
年中行事を考慮しながら、年
間を通じて時期をずらして開
催することで、総合的なプロ
デュースが求められています。
さらに、私はプロデューサー
でありデザイナーでもありま
す。山城さんがお話したよ
うに、糸満市には才能あるア
ーティストや若手アーティスト
が増えていますので、この地

赤丸

私はお笑いがすべてにお
いて重要な要素だと思ってい
て、そのお笑いを糸満に根づ
かせたいと思っています。最
近から取り組んでいることと
して、お笑いとビーチクリ
ーンを掛け合わせて活動を行
っています。これはくくる糸満
から「一緒に何かできません
か？」というお話をいただい
たことがきっかけです。この
ごみ拾いは参加してくれる皆
さんの1人1人の熱量が高く、
協力してくれたメンバーの皆
さんも私も、この掛け合わせ
はすごい相性がいいと感じて
いて、このイベントに私は可
能性を感じています。今回は、
ごみ拾いとお笑いという形で
すが、何かとお笑いを掛け合
わせることで、新鮮なイベン
トとなつて参加者が増えてい
くと思いますし、ビーチクリ
ーンはまだ始めたてではあり
ますが、最終的には美々ビー
チなどで美々ビーチでごみ拾
いの後にフェスもできれば良